

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動により部屋を分けている。	法令に遵守している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				適切に配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			段差があるところは職員が常についている。	バリアフリーを対象とする児童の利用はないが、要望があれば検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よくすごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			清潔に配慮している。活動に合わせて場所を決めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日、朝夕の打ち合わせし、振り返りの時間を設けている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケートを実施し保護者の意向を確認している。要望があれば検討し、常に改善を心がけている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年HP上で公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			今は第三者の評価を受けていないが、今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			必要に応じて業務を調整し、時間を確保している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的にあセスメントを行う時間を確保している。連絡ノートや電話等でもニーズを把握し、計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通したアセスメントシートを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画を作成している。季節や自然に触れる機会なども取り入れている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画に沿って支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月に一度のミーティングで話し合いをしている。	
	15	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			個々に考えた活動をミーティングで話し合っている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントを行い状況に応じた個別活動を考えて提供している。		

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝ミーティングで担当や補助担当などを決め行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			業務終了後に振り返りの時間を設け、話し合いをしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の記録とアセスメントで改善をしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度と、必要に応じてモニタリングを行い見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○			他機関と繋がっている児童がいる場合は必要に応じて連携をとっていききたい。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				移行支援を行う児童がいなかったが、必要に応じて連携をとっていく。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて対応している。	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			毎年研修に参加している。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		要望があれば検討していく。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		日程が合わず、参加が出来ていなかったが、今年度は積極的に参加していききたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや送迎時にその日の状況を伝え合うことが出来ている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				ペアレントトレーニングの開催を予定している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。支援内容はその都度伝えている。	
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			現在は送迎時や電話などで説明してお渡ししている。	
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			不安や悩み困った事には随時対応している。	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		次年度はペアレントトレーニング等の開催を予定しております。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談があった場合は出来だけ保護者からの意向にそうよう検討し、早く回答するよう心掛けている。	

保護者への説明責任等	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月おたよりを発行している他、ホームページ上には毎日の様子をブログ・インスタで紹介している。	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			取り扱いには十分注意し、保護者の同意を得て実施している。	
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			状況に合わせて、写真や絵カードホワイトボード等を使用している。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		現在行っていないが、保護者の希望があれば検討していく。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			定期的にマニュアルの見直し改善し、HP上に掲載することで周知を図っている。	
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回行っている。	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用時やその都度、保護者からの情報を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			毎年アレルギー調査を行い確認している。	必要があれば医師からの指示書を元に対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告し、全体で共有。その後はリスク委員会で検討し、再発防止を心がけている。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に社内研修を行っている。	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○		身体拘束は行っていないが、やむを得ない場合は適切に検討し手続きを行っていく。